

臨床検査専門科目	生物化学分析検査学					
		1単位	演習	平成30年度	後期	2年次
臨床検査学科	必修					
科目名	臨床化学検査学各論Ⅱ Clinical Chemistry II					
担当教員	◎近藤明					
目的	生化学的な背景に基づいて、各臨床化学検査項目の測定意義を理解すると共に、その測定方法の種類と測定原理、及び疾病との関係について学ぶ					
目標	各種検査項目の種類とそれらの測定原理、及び特徴などについて理解した上で、疾病時に生体内でどの検査項目がどのように変動するのかを説明できるようにする。					
他科目との関連	生化学、生体構造代謝学、臨床化学検査学総論、体のしくみと疾病の成り立ちⅠ～Ⅵ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験				0.6
	レポート	レポート試験を課して学習内容の達成度を適時確認していく				0.3
	その他	最初の講義時に与えられた課題を実行する				0.1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	最新臨床検査学講座 臨床化学検査学 著者：浦山ら 出版：医歯薬出版株式会社					
参考資料	ヴォートの生化学（東京化学同人）、ハーパーの生化学等（丸善）、イエローノート（臨床編）及びグリーンノート（基礎編）（メディカルビュー社）、標準臨床検査学 臨床化学（医学書院）、新版臨床化学第3版（講談社）					
備考 (受講上注意、事前学習等)	自分なりの勉強スタイルを確立し、普段の継続的勉強の中に取り入れていく。					